板橋区議会議員　二期目のスタート

四月二十四日に行われた統一地方選挙において板橋区議会議員二期目の当選を果たしたあずまお議員は、五月よりあらたな気持ちで五年目の議員生活をスタートさせました。三月十一日に起こった東日本大震災において被災された多くの方々の思いを決して無駄にすることなく、自分の経験を活かしながら、真剣に板橋区政に尽力してゆくことを固く決意して臨んだこの数カ月の活動報告をお届けします。

■被災地視察

五月一日から板橋区自民党区議団有志で岩手県・宮城県の被災地を訪問、板橋区民から寄付されたものや、三月に予定されていた板橋シティマラソンのために用意されていた水や食料などを、援助物資として被災地に届けました。現地議員関係者に案内されて訪れた被災地は、テレビなどの報道で知ってはいたものの本当にこれが同じ日本の地なのか？と目を疑うほど悲惨な状況であったうえに、沢山の方々が命を落とされ、家を失い、職を失い、未だに避難所や仮設住宅での暮らしを強いられている現状に心を打たれるという衝撃的なものでありました。

残された者たちの責任・果たすべき任務の重さを重く受け止め、現地に行かなくては決して感じることのできないこの貴重な体験をもとに、もし自分の住む板橋で同じことが起きたら？と起こりうる被害の状況とその対策について具体的に考え取り組む必要性を強く感じ、日々災害対策に力を入れています。

■新年度 委員会決定

五月二十五日に行われた平成二十三年第一回臨時会において、本年度の所属委員会が決定しました。

あずまお議員は、常任委員会では最年少の「区民環境委員会」委員長に指名されました。放射能汚染や電力不足などを含めた環境問題と、産業振興の議論を中心とした委員会を進行します。また、特別委員会では「議会改革調査特別委員会」委員に選任され、「開かれた議会」について活発に意見を交わしていきます。

■氷川神社へ参拝

六月七日、坂本あずまお議員は、板橋区政二期目の必勝を祈願した埼玉県・大宮の氷川神社へ参拝に行きました。あずまお議員を支え、厳しい状況のなかで共に戦って下さった方々へ感謝の気持ちを忘れることなく、これからも区民のため区政のため、一生懸命尽くすことを誓いました。

■海外視察

自民党東京都支部連合会青年局の視察団の一員として、七月二十四日から二十七日まで香港とマカオを訪問しました。ハブ空港交通アクセス、新幹線建設予定地、路面電車、スターフェリーなど、さまざまな交通機関の在り方と都市との関係を日本と比較しながら視察しました。

在香港日本国総領事館を表敬訪問した際には、香港とマカオの政治・経済・対日関係などについて話を伺いました。あずまお議員は、香港人の生活、特に子供たちの学習環境について質問。「なぜ香港の町中では子供が遊んでいないのか？」と視察中に感じたことを質問しました。領事の説明によると、香港の家庭では共働きが多いため子供はベビーシッターが見ていること、また、香港では日本以上に受験競争が激しく、子供たちは勉強に追われて遊ぶ時間がほとんどないことが大きな理由だという。この実態を知ったあずまお議員は、以前のように子供たちが元気に外を走り回れる日が、日本にも香港にも他の都市にも再び訪れることを願い、そのために乗り越えるべき様々な課題と真剣に向き合う決意をあらたにしました。

在香港日本国総領事館で質問するあずまお議員

■一般質問

九月三十日に行われた第三回定例会の一般質問で質問したあずまお議員に対し、区長から次のような答弁がありました。

●自治体間の連携と競争のあり方を問う

【質問】
①自治体間の政策競争や連携には、他区市職員との情報共有が重要。他自治体との競争と連携の捉え方は？
②№1実現プラン2015では「板橋が東京で一番住みたくなるまち」として、居住地選択における定住者獲得競争を挙げているが、競争による獲得対象層は？

【区長】
①国・都・関連自治体と相互に緊密な協力体制を築きながら、意見交換や協議の場で地域全体のメリットを考えた広域的な連携を強化したい。
②23区内周辺の地理的特性を踏まえつつ、生産年齢人口を増やして定住化を促すなど、魅力あるまちづくりを進める必要があると考える。政策議会で研究を進めたい。

●民間の手によるいたばし花火大会の実施を

【質問】
今後、いたばし花火大会への区の関わりと負担をさらに減らし、民間の手による事業の実施を求める。それに対する区長の見解は？

【区長】
今後も効率的・効果的な事業の実施を考えつつ、各種協力団体の意見を聴きながら、事業実施の在り方についても検討していきたい。

このほか、統合型GISシステムの複合的な利活用、所管を超えた緑のカーテン事業の展開、広報いたばしを含む全体の広聴広報の姿勢、板橋区の文化行政の快活な展開、災害時における自助共助公助の役割分担、新産業育成プラザ（仮称）について質問しました。

緑のカーテン　ゴーヤプロジェクト・2011

節電対策に効果的であると注目を浴びて今年日本中で盛んに取り組んだ緑のカーテン。あずまお議員が地元成増を中心に率先して取り組んできたこのゴーヤプロジェクトは、五年目の夏を迎えました。

いままでの経験をもとに、種まきから丁寧に育てて、沢山のゴーヤ収穫を願いましたが、激しいゲリラ豪雨や長引く天候不順などの影響で日照不足となり、カーテンは思うように成長しませんでした。

しかし、立派なカーテンができ、ゴーヤの実を沢山収穫された方も大勢いらっしゃいます。同じ気象条件のなかで、どのようにして上手にカーテンを作り、ゴーヤを実らせたのでしょうか。あずまお議員がこの五年間で学んだことを基に分析した結果を報告いたします。

★カーテンの比較

○ 元気なカーテン

× 夏バテカーテン

【特徴】
葉が青々としてハリがあり、ネットにまんべんなく広がっている。黄色い花も沢山咲いていて、これから立派なゴーヤをたくさん実らせることが期待できる優等生カーテン。

【ポイント】
新しい土、丈夫なネットをしっかり準備して、日当たりの良い場所に設置したことが成功へつながった例。おめでとうございます！

葉が黄色くてハリがなく、ネットにまばらに伸びている。ところどころ花が咲き実をつけるものの大きくならず、小さいうちに黄色くなってしまうため収穫に至らない。

日当たりは良いが、プランターが小さく、ネットもたるんでいる。栄養たっぷりの土を用いてネットを安定させ、次回も挑戦してみて！

★緑のカーテンの役割と効果

①遮光・遮熱で室内温度の上昇を抑える
②植物の葉から蒸発する水分で空気が冷やされ、気温上昇を抑える冷却効果
③気温上昇を抑えることで節電につながる
④植物を自分で育てて食べることでストレス解消や脳の活性化につながる園芸療法として活用。人とのコミュニケーションの増加
⑤ゴーヤの苦み成分とビタミンCで健康促進＆夏バテ対策

★ゴーヤの上手な育て方心得

①万全な準備
良い土・良い種または苗・肥料
充分な大きさのプランター
しっかりとネットを張る
日当たりの良い場所を選ぶ
②毎日の水やりを忘れない
③できた実をありがたく頂き自然に感謝する

●ゴーヤ収穫祭・2011

夏の恒例行事となったゴーヤ収穫祭が八月二十日、ホテルカデンツァ光が丘で行われ、約二〇〇名が集い、あずまお議員から緑のカーテンレポートを聞くとともに、成増で収穫したゴーヤをふんだんに使ったお料理を満喫しました。

食後には、タンゴシャンソン歌手のなかにし陽子さんによるピアノ弾き語りスペシャルライヴが行われ、透き通る歌声、情熱的なタンゴ、心にしみわたるシャンソンに酔いしれました。

■地域活動

あずまお議員は、獅子舞や阿波踊りを通じて地元の様々な地域活動に参加し、区民の皆様とふれあう機会を設けながら区民の生の声を聞くよう努めています。八月の成増阿波踊り大会、十月の板橋区民祭り、十一月の板橋農業まつりなど積極的に参加しています。所属している成増里神楽保存会の一員として、赤塚小学校創立百二十周年記念式典や、年末の奉納神楽、新年の連中まわりなど、様々な場所で獅子舞を披露する機会が増えました。伝統文化を継承するとともに、今後は後継者の育成にも力を入れていきます。

■区政報告会・2011

十二月十七日（土）坂本あずまお区政報告会が成増アクトホールで開催され、あずまお議員が一年間の活動をスクリーンを使って報告しました。三月の東日本大震災以降、早急な災害対策強化が求められているなかで、東京青年会議所板橋区委員会の委員長であり、区民環境委員長を務めるあずまお議員が中心となり、板橋区における「防災マップ」を作成していると発表。町の特徴を知り、その特性を充分に活かした対策が必要であると具体例を交えながら報告しました。

第二部懇親会では、にぎやかなパフォーマンスが次々と披露されました。フィナーレはもちろん「ガンバローコール」。元気のいい掛け声で会を締めくくりました。ご参加・ご出演下さった方々、どうもありがとうございました。

区政報告会でのパフォーマンス

音鳴会による「よさこい」

迫力ある「成増天神太鼓」

地元の女性たちによる踊り

第一部でのご来賓挨拶

全員でガンバローコール

「成増チルド連」の阿波踊り

「成増音頭」と「にりんそう音頭」

洋英会のみなさんによる舞踊